

## 第2章 環境保全の取組事例調査の結果

自治体、企業、市民、NPO等による環境保全と地域活性化に関する自主的・主体的取組の事例調査を通じて、地域や主体間が連携して、持続的な環境保全活動を通じて地域の経済やコミュニティの活性化を図る方策を分析し、中部地域における「環境と経済、社会の統合的向上モデル」を検討する資料とした。

### 2-1 取組事例の類型化

中部地域の自治体や企業、NPO等において、地域の環境保全に関して特色のある取組を行っている団体の情報を収集し、下記のように取組事例を5つに類型化し整理した。(※主な取組事例リストは資料編に掲載)

表2-1-1 取組事例の類型化

類型	取組事例
I. 低炭素社会への転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然エネルギー(太陽光、小水力、風力発電)の活用</li> <li>○木質バイオ発電と森林整備・保全</li> <li>○水素エネルギーの開発と関連産業の創出</li> <li>○分散型エネルギーシステムの普及</li> <li>○環境負荷の低い交通へのモーダルシフト</li> </ul>
II. 資源循環利用システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃材・衣料・廃食油等の再資源化</li> <li>○生ごみの堆肥化と農業利用</li> <li>○再生利用製品・エコ商品の普及</li> <li>○ごみを排出しない生産・流通・販売システム</li> </ul>
III. 自然の価値の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の価値を伝えるエコツーリズム・グリーンツーリズム</li> </ul>
IV. 森林・水環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○流域連携及び都市との連携による森林保全・林業振興</li> <li>○流域・海域連携による海域の水質保全と漁業振興</li> </ul>
V. 環境保全活動の価値の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコマネーによるエコ商品やエコライフの普及</li> <li>○市民ファンドによる環境ビジネスの展開</li> <li>○環境配慮型金融商品</li> </ul>

## 2-2 主な事例の分析

収集した団体の中で、特に特色のある活動を行っている団体を対象に、ヒアリング調査を実施し、取組の目的、内容、成果、成功要因と、今後の課題、他団体・地域との連携の可能性、今後の展開等について整理を行った。

### 1. 選定基準

環境分野の活動団体のデータベースや活動に関するニュース情報、関係者へのヒアリング調査などからリストアップした取組事例について、特色のある事例を選定してヒアリング調査を実施し、取組の目的、内容、成果、成功の要因、今後の課題などを把握し、事例シートにとりまとめた。

その際、3つの視点（A、B1、B2）（表2-2-1）で分類化し、それを更に3つの選定基準（表2-2-2）で評価し、ヒアリング調査対象を決定した。その結果、表2-2-3の事例をヒアリング調査対象とした。

表2-2-1 取組事例の分類化

A分類	環境保全活動が経済の活性化に結びつく事例
B分類	環境保全活動を通じて社会問題解決の基盤強化につながる事例
B1分類	広域的な地域間連携や幅広い主体間のネットワークの強化につながる事例
B2分類	地域コミュニティの活性化につながる事例

\* B2：活動範囲が特定地域に限られた取組は調査対象から除くが、該当地域において自治体ぐるみで取り組んでいる事例は対象に含む。

表2-2-2 ヒアリング調査対象の選定基準

ア	経済と社会基盤強化の2つの要素（A分類とB分類）を含み、今後の取組の発展が期待される事例
イ	A分類の事例の中で、広範囲の地域に波及効果が及ぶ可能性のある事例
ウ	B1分類の事例の中で、参加する主体や連携する地域が広範囲に及ぶ事例

表2-2-3 ヒアリング調査対象事例

類型	取組事例
I. 低炭素社会への転換	①富山市「環境と経済の好循環のまちモデル事業」 ②おひさま進歩エネルギー(株) ③NPO法人地球の未来 ④愛知県水素エネルギー産業協議会
II. 資源循環利用システム	⑤NPO法人中部リサイクル運動市民の会 ⑥NPO法人エコハウス御殿場 ⑦グリーンライフ 21・プロジェクト ⑧福井県池田町「環境からのまちづくり」 ⑨(有)三功 ⑩矢崎総業(株)
III. 自然の価値の保全・活用	⑪(株)ピッキオ ⑫トヨタ自動車(トヨタ白川郷自然学校、トヨタの森等)
IV. 森林・水環境の保全	⑬きんたろう倶楽部 ⑭ぎふ森林づくりサポートセンター ⑮NPO法人穂の国森づくりの会 ⑯(株)御祓川 ⑰宮川流域ルネッサンス協議会
V. 環境保全活動の価値の創出	⑱金沢信用金庫 ⑲EXPOエコマネー事業

## 2. ヒアリング調査の結果

ヒアリング調査の結果について、取組の特色、事業化のポイント、事業の概念図などの概要は下記のとおりである。(※ヒアリング結果は資料編に掲載)

### (1) 低炭素社会への転換

名称	特色	社会・環境・経済を視点とした関連図
富山市「環境と経済の好循環のまちモデル事業」	平成 17 年度に環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」(※)として採択。	
分野	既に取り組んでいるエコタウン事業を一層推進し、「地域環境コミュニティの創造」を目指すために、資源循環事業、新エネ事業、公共交通事業等の複数の事業の取り組むとともに、環境定期・地域通貨といったソフト面の仕組みづくりを合わせて実施している。	
機関の性格	行政、企業、NPOの連携	
事業化のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコタウン事業の実績から、行政が中心となって推進組織の設立が円滑にできた。さらに、環境低利融資により事業資金が確保しやすい環境も整えることができた。</li> <li>・しかし、風力発電は、風力の安定性の問題や建築基準法改正による建設コストのアップなどから事業化を断念した。</li> </ul>	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b> 
<b>分野</b>	エネルギー	
<b>機関の性格</b>	企業、NPO法人	
<b>事業化のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型事業を理念とするため、当初はNPO法人を設立して推進しながら、有限会社を設立して市民ファンドによって資金を確保し、本格的な事業展開を図った。</li> <li>・NPOを中心に、行政、弁護士・会計士等の専門家、企業、市民との連携が事業化のポイントにもなっており、こうした連携が可能となった地域の土壌とキーマンの存在がみられ、県外からも多くの出資者を集めることができた。</li> </ul>	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b> 
<b>分野</b>	エネルギー	
<b>機関の性格</b>	NPO法人	
<b>事業化のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家がコアメンバーとして活動している。また、県のNPOの支援センターとの連携により補助金等の資金確保の見通しを立てることが可能となっている。</li> </ul>	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b> 
<b>分野</b>	エネルギー	
<b>機関の性格</b>	産学官の連携組織	
<b>事業化のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連企業を中心に燃料電池開発に関心の高い企業が多く、こうした企業集積を背景に、県が今後の戦略的重点分野として位置づけたことから活動が開始された。</li> </ul>	

## (2) 資源循環利用システム

<p><b>名称</b> NPO法人中部リサイクル運動市民の会</p> <p><b>分野</b> リサイクル&amp;リユース</p> <p><b>機関の性格</b> NPO法人</p>	<p><b>特色</b></p> <p>地域循環型市民社会を目指し、資源回収、不用品交換、エコ商品の開発、環境教育、出版事業などの幅広い活動を展開し、食える市民運動として自立的な運営を行っている。「誰もが参加できる場とシステムづくり」を基本に、幅広い市民を巻き込みながら行政、企業との対等なパートナーシップを形成し参加と協働型の活動を展開している。</p>	<p style="text-align: center;"><b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b></p>
<p><b>事業化のポイント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず自分達できることから率先して活動し、活動モデルを示しながら市民や企業を巻き込んだことにより、行政や企業と対等な関係を持つことが可能となり影響力を持つようになった。</li> <li>・多様な主体が参加できる活動の場を設定と具体的な活動を通して人が育ったことが活動を持続させる力となっている。</li> </ul>	

<p><b>名称</b> NPO法人エコハウス御殿場</p> <p><b>分野</b> 資源循環</p> <p><b>機関の性格</b> NPO法人</p>	<p><b>特色</b></p> <p>市民、事業者、行政のパートナーシップによる資源循環型社会の実現に向け、古着のリサイクルをはじめ、廃食用油回収による石鹸の製造・販売、生ごみの堆肥化などに取り組むとともに、次世代を担う子ども達をはじめとする各世代への環境教育を実施し、市民一人一人が環境活動を行うことのできる社会の構築を目指している。</p>	<p style="text-align: center;"><b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b></p>
<p><b>事業化のポイント</b></p>	<p>・古着の選別、良質な生ごみ堆肥の製造、手芸キットの発案等に関する専門性を高めたスタッフの存在により、市民や関係企業、市からの信頼を得て事業が拡大した。また、NPO法人化により、ボランティアではなくビジネスとしての意識が芽生えたことも要因となっている。</p>	

<p><b>名称</b> グリーンライフ21プロジェクト</p> <p><b>分野</b> 陶磁器のリサイクル</p> <p><b>機関の性格</b> 有限責任中間法人</p>	<p><b>特色</b></p> <p>全国の消費者団体、企業、自治体等から生活の中で壊れた不用食器や美濃焼産地内で発生した不良品を回収し、それを粉砕して原料の一部にまぜて、再度「美濃Re食器」というブランド名で販売する取組。最初の工程で回収品をミルで細かく粉砕し、そこに粘土や長石などを混ぜあわせ、更に粉砕して器の坏土(はいど/焼く前の土)を作成している。このため、もともと分業体制にある陶磁器製造・販売企業がネットワークを形成している取組であり、リサイクルへの一連の流れと、ブランドとしての付加価値を高め販売している。</p>	<p style="text-align: center;"><b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b></p>
<p><b>事業化のポイント</b></p>	<p>・分業が進んでいる陶磁器業界の特性から、市の研究所の呼びかけで多様な業種の企業の参加が得られた。また、販売ルートを通じて、参加企業は域外にも広がっている。</p>	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b> 
<b>分野</b>	生ごみの堆肥化と農業への還元、低・無農薬・有機農業による自然と人にやさしい農産物の直販、エコポイント、住民の手づくりイベントなど、住民による自主的な活動を基本に、地域内の団体間の連携によるまちぐるみの環境保全活動を展開し、地域自体の付加価値のアップを目指す地域資源連結循環型まちづくりを推進している。	
<b>機関の性格</b>		
福井県池田町「環境からのまちづくり」 資源循環型まちづくり 行政、NPO法人等	地域資源連結循環型まちづくり <b>社会</b> 自主グループによる回収活動の展開 団体間の連携による各種事業展開 各人レベルでの環境活動の実践 <b>環境</b> 生ごみ・廃食用油の回収 堆肥化・BDF燃料化 ごみ減量化 CO <sub>2</sub> の吸収 <b>経済</b> 減農薬・有機農業の実施 農産物直売ブランド化 商店が環境行動者にサービス提供 エコポイント	
<b>事業化のポイント</b>	・農産物の直接販売の成功体験を通じて、住民が地域の魅力に気づいて地域に対する関心と自信が高まり、池田町の魅力の源泉である環境を守り改善しようとする住民の機運が盛り上がってきた。 ・まず住民自ら始める「自助」が基本という認識が定着し、住民の自主的な活動グループがそれぞれの活動の担い手になっていることから、まちぐるみの活動に発展した。	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b> 
<b>分野</b>	産業廃棄物処理業者としてスーパーなどから出る生ごみの堆肥化に取り組み、それを使用した良質な農産物をスーパーなどに出荷する循環を行っている。	
<b>機関の性格</b>		
(有)三功 生ごみ等不要資源の活用 民間企業	地産地消の推進 消費者・学校に対する環境意識の啓発 農家の経営環境の向上 <b>社会</b> <b>環境</b> 生ごみ 農産物 食についての循環確立 <b>経済</b> スーパーマーケット 生ごみ (有)三功 堆肥 (有)酵素の里「農家グループ」 農産物	
<b>事業化のポイント</b>	・産業廃棄物処理業者として有していた回収ルートを生かした効率的な回収、小売店との関係を生かした農産物の直接販売などを可能にしたことにより、事業者、農業者、小売店の三者にメリットのある仕組みを構築することができた。	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b> 
<b>分野</b>	木質ペレットを用いたボイラーや冷暖房設備を開発・製造し、そのエネルギー源である木質ペレットの生産を、森林地域と共に取り組む。 木質ペレットの製造を行う第3セクターを、森林地域の行政、森林組合等と協働で運営し、企業の経営手法を取り入れ採算性の取れる事業展開を行う。	
<b>機関の性格</b>		
矢崎総業株 木質バイオマス(木質ペレット) 民間企業	地域住民と社員の協働 地域の多様な主体の連携 社員の意識向上 <b>社会</b> <b>環境</b> ペレット焼却灰の肥料化 木材の有効活用 FSC認証の森づくりへ協賛 森林保全 <b>経済</b> ペレット型冷暖房機器の開発・販売 ペレットの製造・販売 木質ペレット製品の市場拡大 協賛金・参加 協働の森づくり事業	
<b>事業化のポイント</b>	・木質ペレットの需要拡大を目指すペレット利用機器メーカーと森林保全・林業振興を目指す自治体との協働事業として立ち上げることができた。 ・事業者主体に、地域の林業・製材関係の企業が参加したことにより、効率的かつ安定的に原料の収集が可能となった。	

### (3) 自然の価値の保全・活用

名称	特色	社会・環境・経済を視点とした関連図
株ピッキオ	野鳥や山に住む動物の保全を図るため、エコツアーやインタープリターの養成による事業化に成功し、さらに近年、社会問題と化しているクマとの共存に向けた公益的活動をNPO法人として並行して行っている。	
分野	自然環境の保全	
機関の性格	民間企業（一部、NPO法人）	
事業化のポイント	・星野リゾートがバックボーンとなっていることから活動が可能となっている。	

名称	特色	社会・環境・経済を視点とした関連図
トヨタ自動車 (トヨタ白川郷自然学校、トヨタの森等)	トヨタ自動車ではCSR活動及び 21 世紀の新技术開発として、森林・自然資源の調査・保全・活用等を実施。 ①「トヨタ白川郷自然学校」は、地域の自然資源を生かした環境教育活動を展開している。 ②「トヨタの森」は、森林・里山の価値を評価する実験林として整備され、地域の学習の場としても活用している。 ③三重県では山林を取得し、林業を採算の合う事業として管理・活用し、森林再生に取り組んでいる。	
分野	自然環境の保全	
機関の性格	民間企業（一部、NPO法人や専門の民間企業への委託）	
事業化のポイント	・トヨタ自動車がバックボーンとなり、企業CSR活動の理念や 21 世紀の持続可能な新技术への挑戦から、事業化に至った。	

### (4) 森林・水環境の保全

名称	特色	社会・環境・経済を視点とした関連図
きんたろう倶楽部	森林の保全と活用するための仕組みづくりを目的に、行政と新聞社のバックアップを受けて、行政、経済団体、大学、地域組織、NPO等の幅広い団体、個人が参画した活動組織としてスタートした。 市民ボランティアを組織化し、森林整備・管理作業等の活動を中心に、自然観察講座や森林体験イベント事業など、市民を対象とした幅広い事業を展開している。	
分野	森林保全・整備	
機関の性格	官民連携組織	
事業化のポイント	・新聞社のキャンペーンによって、森づくりの重要性について市民の関心と理解が深まってきたのを受けて、行政が呼びかけたために、地元的地域組織、大学、小学校、企業など多様な団体が参加する組織を立ち上げることができた。	

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<p style="text-align: center;"><b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b></p>
<b>分野</b>	<p>県が協働による森林づくりのために設置した「ぎふ森林づくりサポートセンター」の運営をNPOが受託して、当面はホームページを中心に情報受発信を行い、県下の森林づくりに関連する団体のネットワークを形成しながら、森林づくりのための活動についての相談、活動のための人材やノウハウの情報等のリソースづくりを進めている。</p> <p>また、このような中間支援の事業にとどまらず、山村地域の課題に対処するための事業や、組織としての自立を構想している。</p>	
<b>機関の性格</b>		
<b>事業化のポイント</b>		

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<p style="text-align: center;"><b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b></p>
<b>分野</b>	<p>「穂の国」と呼ばれた東三河流域圏をフィールドに、森林の保全・育成・再生と循環型社会の実現を目指して、ボランティアによる森林整備、学校と連携した体験授業、上下流交流イベントの開催、森林地域に関する調査研究等の幅広い事業に取り組むとともに、適正な森林管理と木材の生産・普及の好循環の確立を目的として「東三河環境認証材」認証制度の運用に取り組んでいる。</p>	
<b>機関の性格</b>		
<b>事業化のポイント</b>		

<b>名称</b>	<b>特色</b>	<p style="text-align: center;"><b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b></p>
<b>分野</b>	<p>地域の住民と一体となり、御祓川とその周辺の商店を核として、様々な地域活性化活動を行う。</p> <p>シンボルロード沿いを流れる御祓川の水質を改善するため、ビオパークを設置し、水生植物に隣などの富栄養化物質を栄養源として吸収させ、成長した水生植物を使ってケーキとして販売。その売上をまた活動資金へと還元する。</p> <p>その他、子ども達とゲーム感覚で環境改善に取り組むなど、様々な取組を実施。</p>	
<b>機関の性格</b>		
<b>事業化のポイント</b>		



<b>名称</b>	<b>特色</b> 宮川の流域を形成する市町と三重県が負担金を出し、国関係機関とも連携して、宮川流域地域の活性化を図る取組を地域住民と協働しながら推進している。	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b>		
<b>分野</b>		<b>社会</b>	<b>環境</b>	<b>経済</b>
<b>機関の性格</b>		エコミュージアムによる交流と学習 各種プロジェクトによる流域住民間の連携・交流	各主体の事業取組 協議会としての事業 流域における水問題、環境問題、地域振興問題への取組	各主体の一体的な整備事業による流域環境の向上 流域一帯の地域イメージの向上と地域振興への波及
<b>事業化のポイント</b>	・三重県が庁舎内に事務局スペースと職員を充当し、しっかりした事務局体制を確立したため、事業進捗や社会潮流の変化に対応し、随時実施計画を策定し、それが協議会及び流域市町の事業実施を促すことを可能にしている。			

### (5) 環境保全活動の価値の創出

<b>名称</b>	<b>特色</b> 金沢信用金庫では、中期経営計画の中で「環境」と「地域貢献」を基本方針として掲げるなど、率先して環境保全活動及び環境金融商品を推進してきた。 この基本方針のもと、100周年を迎えるに当たり企画された「きんしんエコロジー積金」は、積金の一部を環境団体に寄付すると共に、顧客自身にも環境行動を促す仕組みを取り入れるという、顧客が直接的かつ継続的に環境に参加する仕組みとなっており、金融機関で初のスキームとなっている。	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b>		
<b>分野</b>		<b>社会</b>	<b>環境</b>	<b>経済</b>
<b>機関の性格</b>		エコライフチェックシートの結果を公表 市民の意識向上	チェックシートに基づくエコライフ・環境経営 CO <sub>2</sub> の発生抑制 環境負荷軽減	高いメッセージ性のある商品の販売 企業価値の向上 顧客の開拓
<b>事業化のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境」と「地域貢献」という明確な基本方針に基づき、組織として商品開発が進んだ。</li> <li>・積金のシェアは運用資金全体のごく一部であるため、他運用業務にて十分に回収が可能。</li> </ul>			

<b>名称</b>	<b>特色</b> 万博閉幕後も名古屋市がEXPOエコマネーセンターを誘致し、継続実施。万博の入場カードのICチップを用いてポイントを管理。市内3箇所センター及びサテライトで運用。 市の施策事業のほか、NPO法人エコデザイン市民社会フォーラムが主催となり企業・大学・行政等が連携して実施している交通エコポンなど、その活用の幅を広げ、市民の環境行動の意識付けのツールとして活用している。	<b>社会・環境・経済を視点とした関連図</b>		
<b>分野</b>		<b>社会</b>	<b>環境</b>	<b>経済</b>
<b>機関の性格</b>		エコ活動によりポイント付与 市民の意識向上	エコ活動の実践ポイントの植樹寄付等 CO <sub>2</sub> の発生抑制 環境負荷軽減	エコ活動を実践する消費者へのインセンティブ 企業CSR 企業価値の向上
<b>事業化のポイント</b>	・以前から実施されていた環境首都を目指した様々な取組や、愛・地球博の開催などで、市民や企業の環境に対する意識が高まっていた。			